

中干し後は「間断かん水 & 飽水管理」で根づくりと稲体活力維持を！

1 現在の生育状況

【コシヒカリ】

平年に比べ、草丈はやや長く、茎数は多く、葉齢の展開はやや早く、葉色は並みとなっています。

【てんたかく】

平年に比べ、草丈は短く、茎数はやや少なく、葉齢の展開はやや遅く、葉色は並みとなっています。

5月8日植え圃場での幼穂形成期は、6月30日頃と予想されます。

表 水稻の生育状況(6月11日、アルプス米標準田 24か所平均)

品種		草丈 (cm)	茎数		葉齢	葉色	幼穂 形成期
			本/株	本/m ²			
コシヒカリ (5/12 植え)	本年	35.0	18.0	371	8.5	4.4	—
	昨年	32.5	16.0	327	7.9	4.3	7/11
	平年 ^{※1}	34.1	17.0	332	8.1	4.4	7/10
てんたかく ^{※2} (5/8 植え)	本年	34.4	20.6	451	9.0	4.6	(6/30) ^{※3}
	昨年	35.4	22.3	478	9.2	4.4	7/1
	平年 ^{※1}	37.2	22.3	467	9.3	4.6	6/28

※1 平年値はアルプス米標準田H20～29の平均値

※2 てんたかくは、県生育観測ほ(立山、上市)2ヶ所の平均

※3 ()は推定値

2 今後の管理

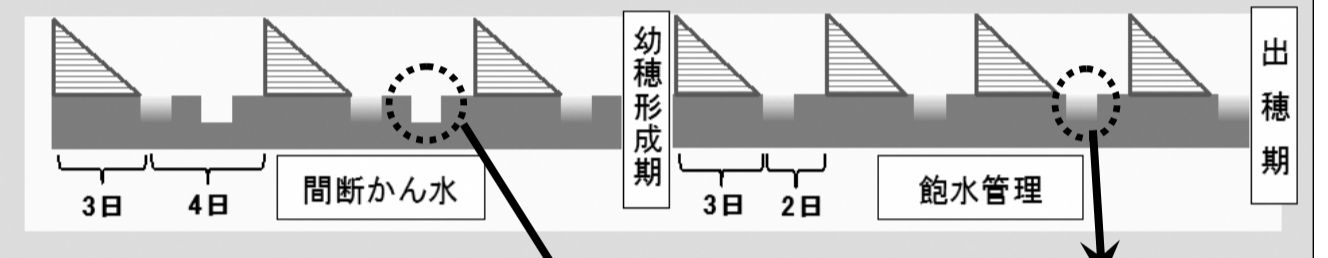
(1) 中干し後の水管理

幼穂形成期までは『**間断かん水**』。

湛水と落水を繰り返す、根に新鮮な水と空気を供給しましょう。



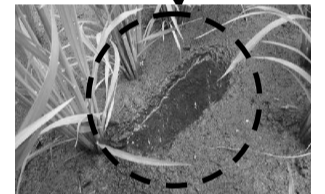
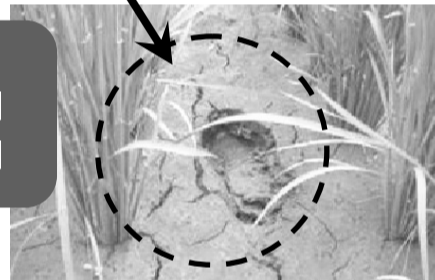
中干し後から出穂期までの水管理のイメージ図



落水期間の目安

乾きやすい圃場：2～3日

乾きにくい圃場：4～5日



幼穂形成期から出穂期までは

『**飽水管理**』を行い、根の活力維持と葉色の急激な低下を防止しましょう。

(2) 中間追肥

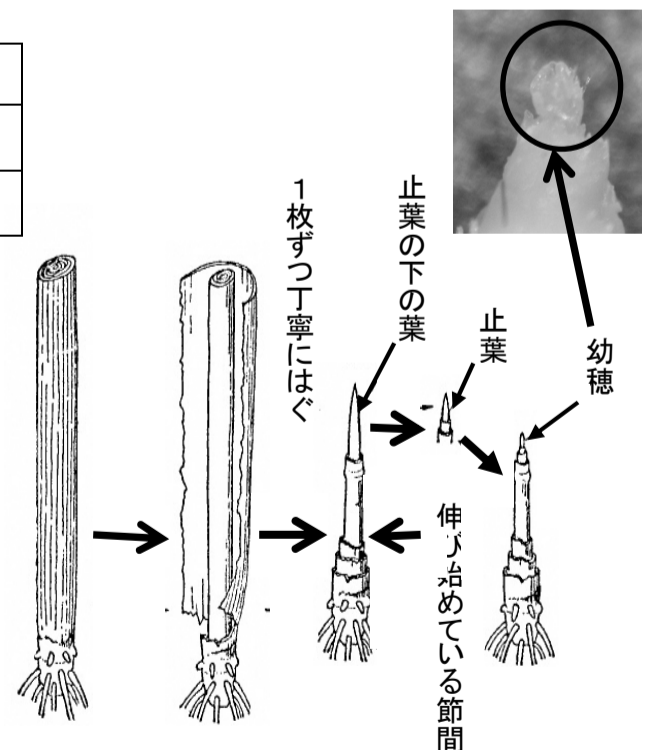
根の活力を高め、下葉の枯れ上りを防ぐとともに、茎を硬くし、倒伏や病気に強い稲体にするために、以下のいずれかの資材を施用しましょう。

肥料名	施用時期	施用量/10a
エスアイ加里らくだ	6月20日頃	15kg
珪酸加里		20kg

(3) てんたかくの穂肥(分施体系)

1回目の穂肥は、幼穂長1～2mmを確認後、直ちに施用しましょう。

肥料名	施用時期、施用量/10aの目安	
	1回目	2回目
追肥3号	6月30日頃 [※] (5月8日植えの場合)	1回目の7～10日後
	10kg	砂壤土 13kg 砂壤土以外 10～12kg



※移植日や標高により施用時期が前後するので、幼穂を確認し、遅れず施用しましょう。

図 幼穂の確認方法

○分施体系で幼穂形成期前に葉色が4.0を下回る場合は、追肥3号で7kg/10a程度追肥しましょう。

○基肥一発肥料を施用した圃場で、6月末に葉色が薄い場合は、各営農経済センターにご相談下さい。

いざ
土づくり!




《お知らせ》

土づくりパワーアップ・GAP推進大会を、6月29日(木)PM2:00から宮川低温倉庫にて開催します。

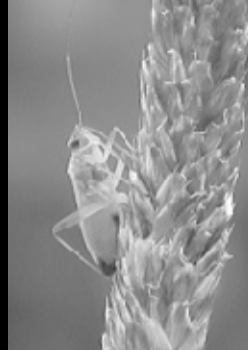
3 斑点米カメムシ類の防除対策

～ 適期の草刈りで、斑点米カメムシ類の発生源をなくそう ～


・ ・ 斑点米 ・ ・ ・ ・ ・ 斑点米の原因となる主なカメムシ ・ ・ ・ ・ ・




目安として、玄米 1000 粒に2粒混じると2等米に格下げ！！



アカヒゲホソドリカスミカメ
(体長 6 mm程度)




アカサジカスミカメ
(体長 5～7 mm程度)



トゲシラホシカメムシ
(体長 4.5～6 mm程度)

管内の一部地帯でクモヘリカメムシが増加しています。他のカメムシと同様の対策が効果的です。今後の発生に注意して下さい。

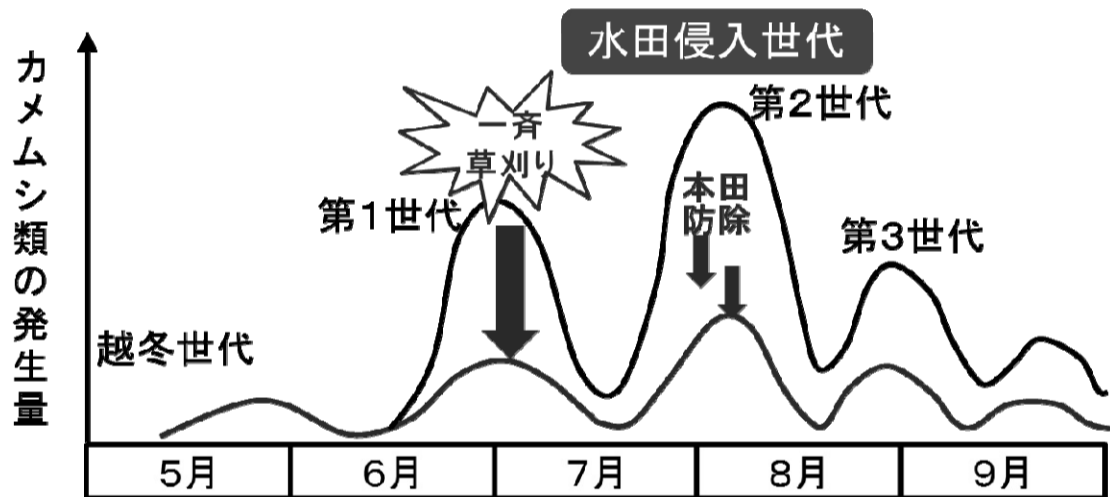


クモヘリカメムシ
(体長 15～17 mm程度)

今年4月、5月が高温で経過したこと、斑点米カメムシ類(以下「カメムシ」)が増殖しやすい気象経過となっています。また6月からの高温で今後も増殖が見込まれます。

カメムシは、イネ科雑草の穂を好み、農道や畦畔、水田周辺の雑草地が、これらカメムシの発生源となります。

斑点米の発生を防ぐには、農薬による防除の前に草刈りの実施でカメムシの餌場を無くし、生息密度を低くすることが重要です。草刈り運動期間に草刈りを行い、地域全体でカメムシの発生源を減らしましょう。



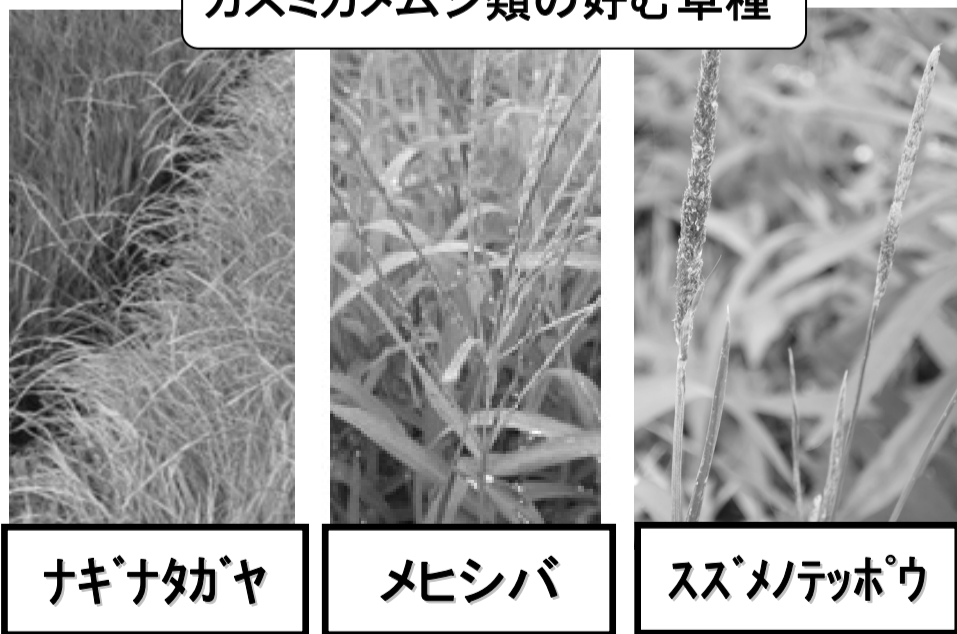
草刈り運動期間: 7月1日～10日
 <一斉草刈り日: 7/7(土)～8(日)>

草刈りによって水田に侵入するカメムシの密度が減少します。

<草刈りのポイント>

- 畦畔や雑草地でのカメムシの増殖を抑えるため、イネ科雑草の穂が出る前に草刈りを行いましょ。
- 水田内に発生した雑草(ノビエ、ホタルイ等)も、カメムシの餌になりますので、雑草の発生状況に注意し、適切な除草対策を行いましょ。
- 大麦収穫後の圃場を放置するとスズメノテッポウ等の雑草が繁茂し、カメムシの発生源になります。このことから、大麦収穫後は、クロタラリア等の地力増進作物などを作付けする等、雑草が繁茂しないように管理しましょ。

カスミカメムシ類の好む草種



■ 草刈り時の留意点 ■

- 👉 刈った草を用排水路に流さない。草刈りで道路を汚したら、すみやかに片付けましょ。
- 👉 草刈り機によるケガに十分注意し、草刈り中、近くを人や車が通過する時は、小石等が飛散しないよう注意しましょ。